

かみっこ

令和6年3月19日

感謝

校長 平澤 啓介

令和5年度も残り数日になりました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の対策が緩和され、久しぶりに制約のない中で教育活動を進めることができました。子どもたちの頑張りもあり、すべての教育課程を多くの成果とともに終えることができそうです。保護者や地域の皆様には、温かいご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

神岡小学校では、「自ら考える」を合い言葉に掲げ、「子どもが願いをもつこと」、「子どもの挑戦を支えること」を大切にして教育活動を進めてきました。そのなかで、子ども自らが「願いを実現する活動」を考え、実行できたことが大きな成長だと感じています。

「全校のみんなが仲良くなるように」との願いをもって取り組んだ児童会活動では、これまでにはなかった全校で交流する活動を行いました。他学年との交流を深める「全校遊び」では、全校260人でじゃんけん列車や伝言ゲームを行って、学年を超えた触れ合いが生まれました。また、一人一人の良さを全校に広げる「みんながんばっている会」では、自分の得意なことやがんばっていることを発表しました。コサックダンスを踊ったり、剣道の稽古を披露したりして、仲間のよさを知るきっかけになりました。こうした活動によって、「全校のみんなが仲良くなるように」という願いに一步近づけたと思います。



5年生の総合学習「福祉」では、自分たちにできる福祉として「保育園児を楽しませたい。」との願いをもち、魚釣りや的あてなどの遊びを楽しんでもらう交流会を行いました。12月の旭保育園との交流会では、遊びが難しかったり、上手く案内できなかつたりすることもありましたが、その原因と解決策を考え、3月の双葉保育園との交流会では、園児を大いに楽しませ、自分たちの願いを実現することができました。

いろいろな活動を通して、子どもたちが願いをもって挑戦し続けたことが、一人一人の成長につながったと感じています。

神岡小学校では、数年前に大切な仲間を失うという悲しい経験をしました。だからこそ、1年の締めくくりに、みなさんへ伝えたいことがあります。それは、いつも感謝の気持ちを持ち続けて欲しいということです。

今そこにあなたがいること。友達や家族がそばにいること。一緒に笑い合えること。涙を流すこと。けんかすること。こうした何気ない日常の一つ一つが、本当にかげがえのない幸せなのだと思います。だからこそ、あなたを支え、関わって下さる全ての人への感謝の気持ちを忘れず、心に希望をもって未来へと歩いていってください。

4月8日から令和6年度が始まります。子どもたちが元気に登校し、笑顔いっぱいの学校生活をスタートできることを楽しみにしています。